



#学校 #教育

#不登校 #子育て #フリースクール
#たった一度の大切な人生

自分はどのような人間か？適性はどこにあるのか？何に興味があるのか？何に充実感を感じるのか？何のために生きるのか？自分の志は何か？人生最後の時に周囲の人々に「本当にありがとう、良い人生でした」と微笑みながら逝ける生き方とは？

従来型の教育システムでは、これらのことについて落ち着いて考える時間が少ないように思います。

自己の中でじっくり醸成していく時間的余裕がなさすぎると思います。だからなんとなく進学し、なんとなく就職して、なんとなく家庭をもち、「あれ自分の人生はなんだったのだろう？」と混乱したまま、最後の時を迎える方が少なからずおられるように思えます。

私は、従来型の学校教育を否定するものではありません。昭和の時代から続いてきた学校教育が向いている方はそれを選ぶことを尊重すべきです。

他方、先述したように、自分のたった一度の大切な人生の意義を、可塑性のある若い時期から、しっかり時間をかけて考え、そのプロセスにおいて、自分が必要と考える生き抜く知識知恵を身に着けることを選択することも同様に尊重していただきたい。

従来型の学校教育になじめない児童生徒にも自尊心や、生きることのみずみずしさを失うことなく、生きる根っこを太く育てる機会を与えてほしい。

その思いから12月の議会において、学校教育について質問させていただきました。

12月議会における一般質問の概要

01

Q.学校関係者と学校外の多様な学びの場との意見交換会等の開催を求める

A.市担当者答弁 「本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設との情報交換の場を充実させていきたい」

02

Q.学校外の多様な学び等に関する情報提供を求める

A.市担当者答弁 「本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設に関する情報について効果的な提供ができるよう検討する」



詳しい内容は加古川市議会HPで公開されています

⑧ <http://www.kensakusystem.jp/kakogawa-vod/>



多様な学びの場について更にお知りになりたい方は以下のHPをご覗ください。

デモクラティックスクール総合情報サイト

検索

⑧ <http://democratic-school.net/>

加古川市議会議員
つけ あつひと

議会におけるこれまでの質問

- ・学校外の多様な学びについて
- ・6次産業化の取組みについて
- ・加古川西市民病院の跡地活用事業について
- ・認知症対策について
- ・女性活躍の推進について
- ・いじめ等防止条例について
- ・こども食堂について
- ・加古川市縁結びプロジェクトについて
- ・持続可能な地域社会の構築を目指して



市議会の記録は加古川市議会HPで閲覧できます。
🌐 <http://www.kensakusystem.jp/kakogawa-vod/>

最近の主な活動記録

- ・高校で生きる根を太く深くするための授業を担当
- ・大阪府、岡山県、広島県、兵庫県等で芸術・志について講演
- ・建設経済常任委員副委員長
- ・こども食堂ボランティア
- ・活動報告配布・ポスティング
- ・福祉施設で歌のボランティア活動参加
- ・竹体操と百歳体操参加
- ・ライオンズクラブ計画委員会
- ・地域の親睦を深めるため地元の皆様と朝食会
- ・議会運営委員会参加
- ・会派代表者会参加
- ・朝力フェに参加
- ・会派市政報告会開催
- ・挨拶運動主宰
- ・議会改革に関する検討会参加
- ・街角オアシス参加
- ・地元史跡めぐりに参加
- ・児童の職業体験のお手伝い
- ・経営者モーニングセミナー参加 等々



詳しい活動記録はHPまたはFacebookをご覧ください。
🌐 <http://tsuge.site/> 🎙 「つげあつひと」でご検索ください

予算要望における重点項目の概要

- ① **コミュニティバスの自動運転化の研究促進**
バス運転手不足、高齢化の流れはこれからも進むと考える。また路線の維持拡充の観点から、公共交通の最大のコストである人件費を自動運転により解消する研究を促進することを求める。
- ② **就職氷河期世代に対する職業訓練等支援策の充実**
就職氷河期世代が社会に復帰して力強く自分の人生を歩めるように職業訓練等支援策の充実を求める。
- ③ **幼児虐待防止施策の充実**
幼児虐待を早期に発見して防止する具体的体制の見直しを求める。
- ④ **フードドライブの確立**
日々、家庭や小売店等で発生する余った食材を受け入れ、保管し、継続的にこども食堂等に送るシステムと、市外のフードバンクから市内のこども食堂等に食料を送るシステムの確立を求める。
- ⑤ **再生可能エネルギー事業の推進**
公共施設の屋根、ため池、空き地の有効利用方法として、太陽光発電施設を整備し、売電収入により福祉教育サービス等の充実にあてるることを求める。
- ⑥ **引きこもり支援課の設置**
ひきこもりに関する相談支援を行う「ひきこもり相談支援課」を新設し、精神保健福祉士などの資格を持つ職員らが対応し、電話相談や自宅訪問などで支援することを求める。
- ⑦ **デジタルガバメントの社会実装**
行政サービスを利用者の視点から徹底的に見直し、デジタル化3原則に沿って「行政サービスの100%デジタル化」を目指していただきたい。具体的には、①各種手続きのオンライン原則の徹底、②行政手続きにおける添付書類の撤廃、③主要ライフイベント(引越、介護、死亡・相続)に関するワンストップ化の推進を社会実装することを求める。
- ⑧ **空き家地域利用バンク制度の確立**
空き家をこども食堂等に活用するために、空き家地域利用バンク制度を確立することを求める。



つげ あつひと プロフィール

1972年4月5日生まれ

加古川東高校卒業 東京外国语大学卒業 上智大学法科大学院卒業

法律事務所・法律予備校・訪問看護ステーション・保育園事業、行政書士事務所経営、大学院卒業生向け就職支援会社役員等を経たのち、2017年衆議院選挙に立候補。現在加古川市会議員

✉ atsu-tsuge@kpd.biglobe.ne.jp

🌐 <http://tsuge.site/>

つげあつひと

検索

🐦 [@atsutsuge](https://twitter.com/atsutsuge)

FACEBOOK 「つげあつひと」でご検索ください